

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公開番号】特開2004-314073(P2004-314073A)

【公開日】平成16年11月11日(2004.11.11)

【年通号数】公開・登録公報2004-044

【出願番号】特願2004-121105(P2004-121105)

【国際特許分類】

B 0 1 D 71/10 (2006.01)

B 0 1 D 61/14 (2006.01)

B 0 1 D 71/82 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 71/10

B 0 1 D 61/14

B 0 1 D 71/82 5 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月5日(2007.3.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

架橋ポリマーが、セルロース性ポリマーと架橋剤から形成され、前記セルロース性ポリマーは架橋可能な水酸基部分を有しており、前記架橋剤は、酸性溶液中で求電子化学種を放出することができ、前記求電子物質は、前記セルロース性ポリマーの水酸基部分と反応してそのセルロース性ポリマーの架橋を行うことができる、架橋ポリマーを含む膜。

【請求項2】

前記架橋剤が、多官能性の芳香族もしくは非芳香族の環状N-アルキルオキシ化合物または前記N-アルキルオキシ化合物のアルキルエーテルであり、Nは環内性または環外性である請求項1に記載の膜。

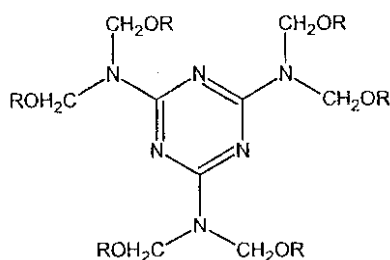
【請求項3】

前記架橋剤が、多官能性N-メチルメトキシ化合物または前記多官能性N-メチルメトキシ化合物のアルキルエーテルである請求項2に記載の膜。

【請求項4】

前記架橋剤が式

【化1】



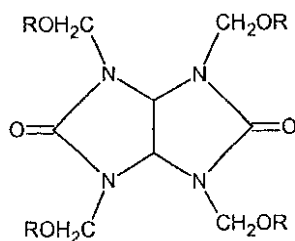
(式中、Rはアルキル基である)

を有する請求項3に記載の膜。

【請求項 5】

前記架橋剤が式

【化 2】



(式中、Rはアルキル基である)

を有する請求項 3 に記載の多孔質合成膜。

【請求項 6】

前記膜が限外濾過に適した形状を有する請求項 1 に記載の膜。

【請求項 7】

前記セルロース性ポリマーが再生セルロースである請求項 1 に記載の膜。

【請求項 8】

さらに、多孔質ポリマー基材を含み、前記多孔質ポリマー基材は、前記架橋ポリマーを支持し、前記多孔質ポリマー基材の多孔率が、前記架橋ポリマーの多孔率より大きい請求項 1 に記載の膜。

【請求項 9】

さらに、前記架橋ポリマーの表面に共有結合した荷電部分を含み、前記荷電部分が負電荷を帯びた部分である請求項 1 に記載の膜。

【請求項 10】

さらに、前記架橋ポリマーの表面に共有結合した荷電部分を含み、前記荷電部分が正電荷を帯びた部分である請求項 1 に記載の膜。

【請求項 11】

前記架橋ポリマーの多孔質層が正面と背面を有し、前記正面の平均孔径が、背面の平均孔径より大きい請求項 1 に記載の膜。

【請求項 12】

架橋ポリマーが多糖類と架橋剤とから形成され、前記多糖類は架橋可能な水酸基部分を有しており、前記架橋剤が多官能性の芳香族もしくは非芳香族の N - アルキルオキシ化合物、または前記 N - アルキルオキシ化合物のアルキルエーテルであり、N は環内性または環外性である、架橋ポリマーを含む膜。